

安全で安心なまちづくりのため、 さまざまな取り組みを行っています！



地域ぐるみで交通安全を

交通量の多いこの地区で、子どもたちが安心して暮らすためには、交通安全への取り組みが欠かせません。

そこで、年齢を問わずに交通ルールなどを楽しく学ぶため、毎年7月に「交通安全セーフティフェスティバル」を開催。小学生を対象にした「自転車の安全な乗り方教室」では、終了後に自転車運転免許証を交付し、子どもたちへの啓発を行っています。



また、毎年10月には、国道36号沿いで、小中学校の児童・生徒やPTA、国道沿いの企業に勤める人などが参加する交通安全の街頭啓発を行っています。

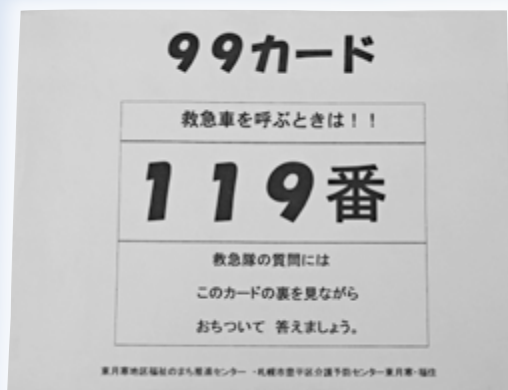
平成19年に開始した地域ぐるみのこの取り組みは、全長が約2キロメートルにも及ぶ大規模なもの。年を重ねるごとに参加者も増え、今年は1,100人を超える人々が、ドライバーに交通安全を訴えました。



99カード～急病に備えて

一人暮らしのお年寄りが急に体調不良になったときの情報確保のため、全国で初めて東月寒地区福祉のまち推進センターが始めた取り組みである「99カード」。

オレンジ色の用紙に、氏名や血液型、緊急連絡先などを記入。2つ折りにして普段服用している薬の説明を挟み、玄関の目立つところに張り出すことで、救護者がカードに書かれた情報を確認し、迅速で適切な対応ができるというものです。



しかし、急に具合が悪くなるのは一人暮らしのお年寄りに限ったことではありません。

そこで、平成22年度からは、地域全体の取り組みとして町内会連合会も全面的に協力。年齢や世帯構成を限定せず、希望者が必要なときに利用できるようにするため、地域内での普及を進めています。

99カードに関するお問い合わせは
東月寒地区町内会連合会まで。
<連絡先>
東月寒まちづくりセンター ☎853-9191

救急車を呼ぶようなとき、
必要なことを救急隊に正確
に伝えられますか。
99カードは「救急隊への
メッセージカード」です。
ぜひ活用してください。



東月寒地区町内会連合会
ふかだ ゆきお
福祉部長 深田征雄さん

